






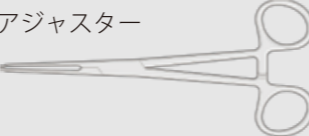

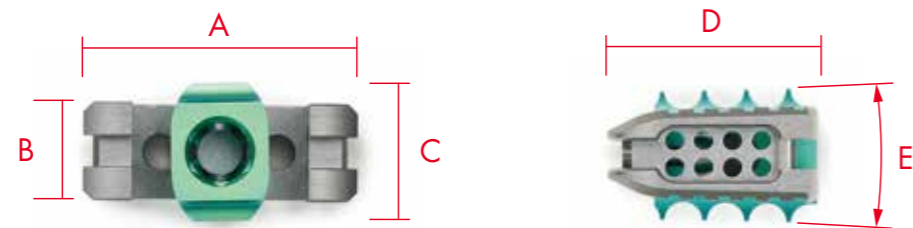


- 1 トライアル 5mm 0° 
- 2 トライアル 6mm 0° 
- 3 インサーターバー 
- 4 レンチ 5mm/6mm 
- 5 インパクトター 
- 6 カウンタートルク 
- 7 スプレッター 5/6.5mm 
- 8 アジャスター 
- 9 ハンマー 



製造番号	製品名	A	B	C	D	E	カラーコード	機能区分名
154-5140	エム・ケージ SR2 5x11x14mm 0°	14mm	5mm	7mm	11mm	0°	グリーン	AB-14
154-5143	エム・ケージ SR2 5x11x14mm 3°	14mm	5mm	7mm	11mm	3°	グリーン	AB-14
154-6240	エム・ケージ SR2 6x12x14mm 0°	14mm	6mm	8mm	12mm	0°	ブルー	AB-14
154-6243	エム・ケージ SR2 6x12x14mm 3°	14mm	6mm	8mm	12mm	3°	ブルー	AB-14
154-7250	エム・ケージ SR2 7x12x15mm 0°	15mm	7mm	9mm	12mm	0°	イエロー	AB-14

* 特注品 ■ 承認番号:30500BZX00185000 ■ 販売名: m-cage SR2 システム ■ 区分: 高度管理医療機器・クラスⅢ

Attention
お願い

本製品の品質、本質、耐久性、信頼性、安全性、効果又は効能に対するご質問は、株式会社アムテックへお問い合わせください。
また、本製品の機能不全が原因で患者様に重篤な障害を生じた場合には、速やかに通知いただきますようお願い申し上げます。



頚椎前方固定術用チタン製インプラント

m-cage
SR2

New

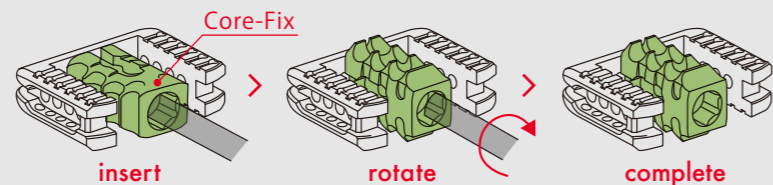
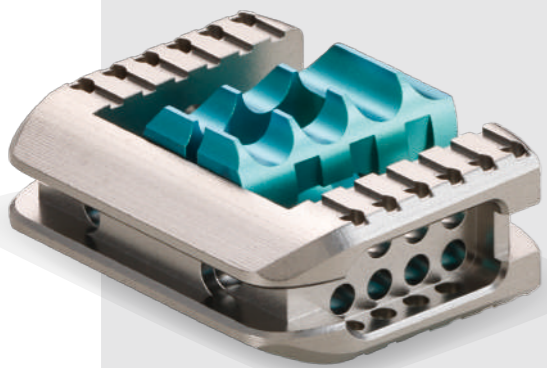
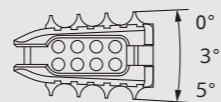


m-cage SR 2

Features | 特徴

エム・ケージSR2は、脊椎頸部の疾患による変形、不安定性に対して固定するための頸椎前方固定用チタン製ケージです。頸椎症、頸椎椎間板変性、頸椎椎間板ヘルニア等に用いられます。

- 3°, 5°の角度付きを追加
- 多孔形状にすることで金属量を大幅に削減
- Core-Fix構造によりワンステップで固定可能



Surgical Technique | 手術方法

1 展開～除圧

通常の頸椎前方固定術により、必要な除圧を行います。

2 サイズの決定

①②のトライアルを用いて、使用するインプラントサイズを決定します。

3 インプラントの準備

インプラントを③インサーターバーにあてがい、スライダを矢印方向にロック音が聞こえるまでスライドさせて装着します。(図-1)

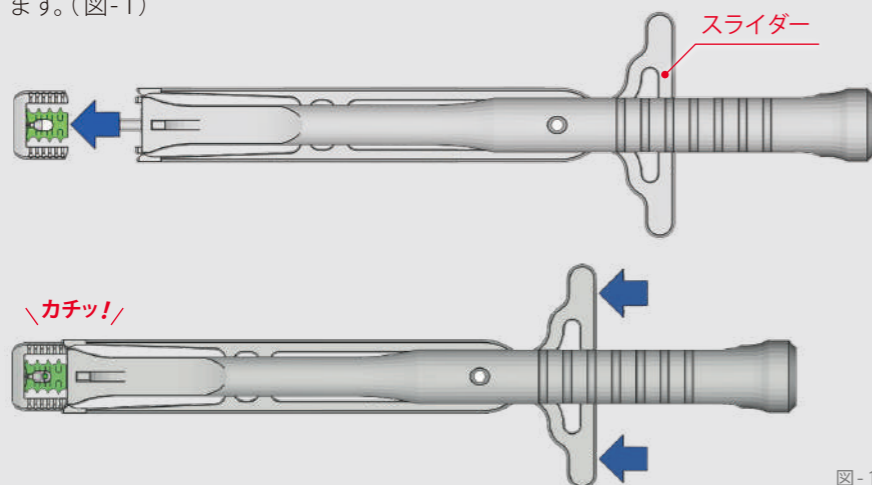


図-1

4 挿入

椎体間は⑦スプレッター等で適度に広げておきます。インプラントを椎体間に挿入してから、(図-2)インプラントの前面が椎体前面の皮質骨を支えられる位置で止めます。③インサーターバーのスライダを手前に引くとロックが解除され、インプラントの設置ができます。(図-3)必要に応じて⑤インパクトによりインプラントの位置の微調整を行います。イメージなどによりインプラントが正しい位置にあることを確認します。

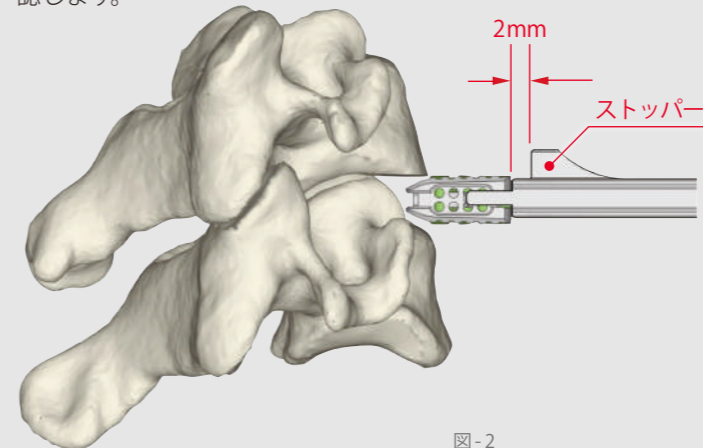


図-2



図-3

5 インプラントの固定

⑥カウントルクをインプラントの切り欠きに差し込み、④レンチでCore-Fixを90度回転させて固定します。(図-4)左右どちらの方向に回しても固定は可能です。より抵抗が少ない方向へ回転させます。Core-Fix表面のマーキングの位置を最後に確認します。(図-5)

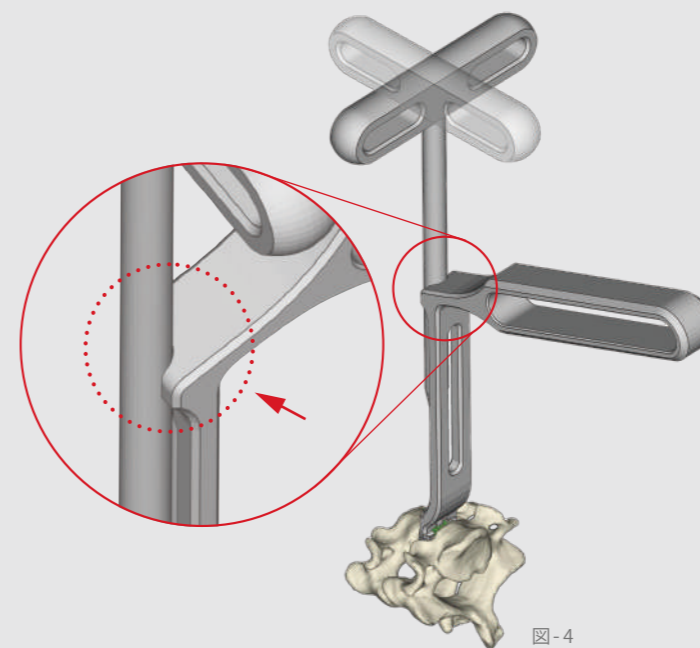


図-4

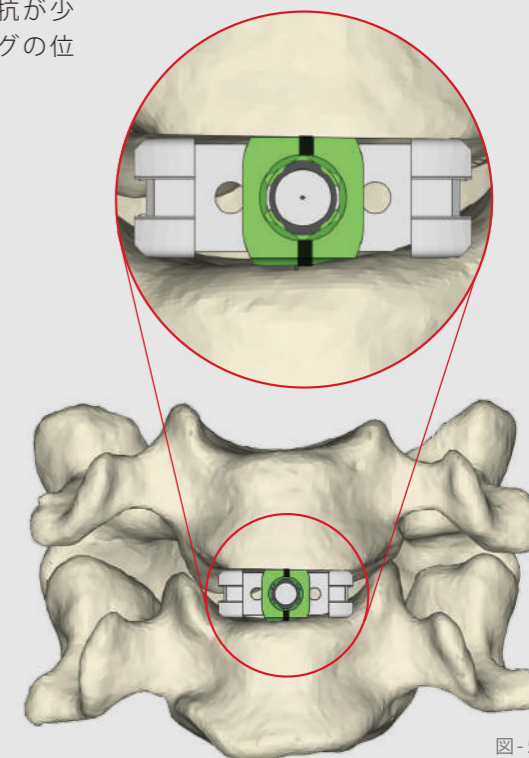


図-5